

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2906

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法		■対面（ 浜田キャンパス ）	
					□オンライン（同時・録画・資料提示）	
					□その他（ ）	
	2. 正式科目名 副題		文化人類学		配当年次	1・2
				受入学年	1・2・3・4	
学問分野		番号	11	名称	人文科学系 文化・文学	
3. 担当教員名	高谷 紀夫					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2026年 9月 14日（月）～ 2026年 9月 17日（木） 月曜日～木曜日 : ~ :					
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本授業では、人類学の基本理論と文化事象の具体例から、人類文化の多様性と相互理解の重要性について学ぶ。本授業の履修を通して、人類学的思考法のエッセンスを習得することで、自文化を相対化し、異文化との相互理解に寄与する豊かなインターカルチュラル・コミュニケーションをめざしくわかりあうことを究める）ことの大切さの再確認を期待する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>（1）自文化理解と異文化理解のコラボレーションの意義を理解して、自分のことばで説明できる。 （2）フィールドワークによる〈現場〉との対話の楽しさを理解して、自分のことばで説明できる。 （3）エスノグラフィを批判的に読み、インターカルチュラル・コミュニケーションにおける言語化の難しさを理解して、自分のことばで説明できる。</p> <p>【受講者へのメッセージ】</p> <p>異文化研究を通じて展開してきた「異文化理解のための思考法の科学」である文化人類学は、人間存在の多様性を理解する手がかりとしての「文化」概念を利用しつつ、人間の世界そのものが文化的意味付けの体系であることを示してきた。本授業では、近代社会科学の展開の中での人類学の位置を念頭に置きながら、映像資料を活用して人間と文化の関係についての人類学的思考法に関して解説する。</p> <p>I. 人類学の発想</p> <p>I-1. 人類学的思考法のすすめ～人類学って何？ I-2. 異文化理解と異文化誤解の間（はざま）で I-3. 人類学とは何か？のまとめ</p> <p>II. ひとりでは生きていけない～社会という「常識」再考～</p> <p>II-1. ひとりでは生きていけない～社会構造の人類学 II-2. 家族という「常識」再考 II-3. 婚姻という「常識」再考～当人同士だけの問題ではない II-4. 日本社会の親族構造の行方</p> <p>III. 文化は「境界」を超えて～グローバル化とフィールドの現場から～</p> <p>III-1. グローバル化と「親子関係」の行方 III-2. 文化交流論～地図化された世界観の相対化 III-3. フィールドの現場から（1）Everybody's Ethnic: Your Invisible Culture III-4. フィールドの現場から（2）日本人を規定する多様な脈絡</p> <p>IV. 「場所」を探し続けている～宗教という「常識」再考～</p> <p>IV-1. 自分の「宗教」観再考</p>					
11. 試験・評価方法	<p>（1）授業参加の積極度、及び人類学的思考力・表現力を問うレポート（毎日）50%程度。 （2）最終試験50%程度。 （1）と（2）による総合評価。</p>					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項	人類学的思考は〈あたりまえ〉を疑う、〈異なる〉を楽しむ、がキー・コンセプトです。「自文化」理解を心掛け、「異文化」と対話しながら、豊かなインターカルチュラル・コミュニケーションの実現をめざします。					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	否

